

# 教育支援（幸せの子どもの家）



支援者の皆さまへのメッセージ

CCH所長（理事）メチ・ソカ

変わらぬ支援をいただいている日本の皆様およびJHPサポーターの皆さまに、感謝の意を表します。カンボジアのさまざまな分野に、環境、日本の皆さまの長年にわたる支援のお陰であることを忘れません。

カンボジア全土にいま平和が訪れています。すべての国民は、合法的に活動する権利、勉学する権利、働く権利などのさまざまな権利を取得しました。これらの変化は、私の人生のなかで初めての経験です。内乱の中で暮らし、大国からの内政干渉もあり、自国民同士が戦い社会の崩壊を招きました。大国に内戦を強いられ毎日人びとが死んでいる今のシリアと同じ状況で、深い苦しみの中にあります。孤児院の多く、避難所、そして学校も、食糧も、水も、電気・ガス・水道など、何も無い状態であります。

CCHは2002年11月30日に、JHPの小山内美江子代表をはじめとするJHPの財政的支援および理念の下で創設されました。2002年から現在に至るまで、直接的には261人を収容した他、CCHの小学校に通う年間100人の子どもたちを支援してきました。CCHから巣立った全ての子どもたちは、良い職を得て、カンボジア内外で生活し、より良い人生を歩んでいます。また、CCHの卒業生たちは、教育や子どもの権利、健康ケアなどの分野で恵まれない子どもたちを助ける活動に携わっています。

最後に、JHPの小山内代表をはじめ、皆さまに重ねて御礼を申し上げます。皆さまの優しさと寛大さが、人生にご多幸とご繁栄をもたらしますことをお祈りしております。



貧困地域の子どもたちに勉強を教えるCCHの若者



CCHの小学校でPCの授業を受ける生徒



ミシンの使い方を練習するCCHの女の子

項目	総数	男子	女子
小学生	46	23	23
中学生・高校生	20	9	11
小計(CCH現在数)	66	32	34
ドンボスコ職業訓練校籍者	9	6	3
自立している高校生。大学生	50	23	27
社会人(CCH卒業生)	130	80	50
カンボジアの大学在籍者	3	1	2
海外のインターナショナルスクール在籍者	3	1	2
支援者総数	261	143	118

2018年3月31日現在



CCHが運営する小学校に通うこどもたち

## プロジェクトの背景

ポルポト時代に家族を失った経験を持つソカ氏の孤児院設立の構想に対して、2002年に当会が施設を建設し、創設に携わった。贈呈式は2002年11月30日。主にゴミ山で生活していた孤児等を調査面接し、就学意欲のある16人に支援から開始した。CCHはCenter for Children's Happinessの略称。日本語では「幸せの子どもの家」と呼ぶ。カンボジアのNGOとして正式に登録されている団体で、設立当初からソカ氏が所長を務める。これまでに在籍した子どもの数は261人。2018年3月31日現在、66人の子どもたちが生活している。また、CCH内で運営されている小学校には、CCH内部の46人の他に、外部の子ども62人を受け入れている。